

(別記)

## 2019 年度川本町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

平成30年度においては、水田面積の約48%に主食用米が作付けされ、農業産出額の約50%以上を占めています。また、水田面積に占める産地交付金の対象作物の作付面積は5%となっています。品目別には、野菜、エゴマ、花き、飼料作物等が中心に作付けされ、水田を活用しています。

今後も、主食用米の需要が減少する中で、国が示す新たな農業施策に対応し、主食用米の生産から非主食用米や土地利用型の作物への転換を促進するため、農地中間管理機構を活用し、担い手に農地利用集積を図ることにより、所得の確保と水田機能の維持を図っていく必要があります。

また、これまで取り組んできた良質米生産地としての地位確保と、産地交付金を活用した作物振興の体制整備に向けて計画的に取り組む必要があります。

### 2 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

近年、気象変動や地力低下による品質の低下を招いていることから、有機物の積極的な投入や遅植え、「コシヒカリ」から「きぬむすめ」への作付け誘導により良質米生産地としての地位を確保します。

また、販売先に結びついた米づくりを一層進め「石見高原ハーブ米」を中心とした特別栽培米の生産量確保と安定供給に取り組めます。

#### (2) 大豆、そば

現状では作付地域が限定されていることから転作面積は少ないものの、今後は、6次産業化に対応した地域の特産化により、販売収入の確保を図ります。また、大豆については、川本町奨励作物支援事業の該当品目であることから、町の事業と連携し面積拡大に取り組めます。

#### (3) 飼料作物

輸入粗飼料価格の高騰や安全性の問題がある中で、自給飼料による安全・安心な畜産物が求められており、栽培面積の拡大をめざします。また、水田放牧の取組等、耕畜連携による生産・供給や堆肥等の施用等を通じた粗飼料自給率の向上と耕種及び畜産農家の収益性の向上を図ります。

#### (4) 高収益作物（園芸作物等）

##### ア エゴマ

エゴマは、町の特産品となっており、町内加工業者からの需要が高くなっています。今後は、更なる特産品化を推進するために、有機農業に取組むことにより安全・安心な品目を生産し、面積拡大及び生産拡大を図ります。また、エゴマについては、

川本町奨励作物支援事業の該当品目であることから、町の事業と連携し面積拡大に取り組めます。

イ 白ねぎ

これまで重点品目として産地化を進めていますが、生産者の高齢化が進んでおり、作業の省力化を図り継続して振興を図ります。

ウ なす

これまで重点品目として産地化を進めていますが、個人農家以外での取組が進んでいないことから、今後は組織での生産が拡大するよう継続して振興を図ります。

エ ピーマン

これまでも軽量作物として一定面積の作付けが行われていますが、高齢者にも取り組みやすい作物であることから、重点品目として振興を図ります。

オ 野菜等

地域内の直売所の活性化を推進するために、収益性の高い少量多品目の野菜の生産に取り組むことにより、農家所得の向上及び生産拡大を図ります。

カ 花き

これまで重点品目として産地化を進めてきており、特にトルコギキョウをはじめとする切花については、講習会等を通じて品質向上を図ります。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	2018年度の作付面積 (ha)	2019年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	138.86	137.47	136.18
大豆	0.37	0.40	1.00
飼料作物	3.66	3.70	3.80
そば	1.40	1.50	1.60
その他地域振興作物	12.03	16.90	17.17
野菜			
・エゴマ	9.50	12.00	12.50
・白ねぎ	0.27	0.60	0.79
・なす	0.48	0.70	0.99
・ピーマン	0.16	0.20	0.87
・その他野菜	0.79	1.90	0.32
花き	0.83	1.50	1.70

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				現状値	目標値
1	野菜等	直売所等活性化推進 助成	作付面積	(2018年度) 0.79ha	(2020年度) 2.05ha
2	白ねぎ、なす、ピー マン	地域振興作物助成 (白ねぎ、なす、ピー マン)	作付面積	(2018年度) 0.91ha	(2020年度) 2.18ha
3	花き	地域振興作物助成 (花き)	作付面積	(2018年度) 0.83ha	(2020年度) 1.70ha
4	エゴマ	地域振興作物助成 (エゴマ)	作付面積	(2018年度) 9.50ha	(2020年度) 12.50ha
5	飼料作物	水田放牧 (耕畜連携)	放牧面積 (実施率)	(2018年度) 0.30ha (2018年度) 7.61%	(2020年度) 1.00ha (2020年度) 27.8%

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

#### 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり